

『文学国語』 年間指導計画 【2学年普通科・理科科】

科目	単位数	指導学年	使用教科書
文学国語	2単位(70時間×2)	第2学年 普通科・理科科	大修館書店『新編 文学国語』
担当者			
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	生徒の実態と指導の重点	2年次科目。読解力や理解力、思考力を高めていけるよう指導する。

学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
1	4	【1】 1 明日をひらく	6	【知・技】 (1)ア (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を比較してとらえ、認識を深める。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	5 6	【書く】言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	4	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
		古典の世界1 児の飴食ひたること	6	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・話のおもしろさと教訓をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	6 7	2 小説を楽しむ (一)	8	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・場面の設定のしかたをおして登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・定期テスト	
	2	9	3 詩を味わう	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえて、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			永訣の朝	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえて、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
10		古典の世界2 月やあらぬ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	11	4 名作を読む	10	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	12	表現を味わう 【書く】思いを言葉に ①エッセイを書こう	6	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
3	1	5 社会に生きる	7	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)エ	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえて、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	2	古典の世界3 行く河の流れ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分の身の回りのできごとと比較しながら作者の考え方をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	

学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
	3	読書の広場	鉄道員	4	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

計 70

『文学国語』 年間指導計画 【3学年普通科】

科目	単位数	指導学年	使用教科書
文学国語	2単位(70時間×2)	第3学年 普通科	大修館書店『新編 文学国語』
担当者			
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	生徒の実態と指導の重点	国語科内選択科目。読解力や理解力、思考力を高めていけるよう指導する。

学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
1	4	【1】 明日をひらく	4	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	5	[書く]言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	4	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
		古典の世界1 星取り	4	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・話のおもしろさをとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・笑話を読み、オチにつながる展開を的確に捉える中で、そのおもしろさについて考え、自らの学習を調整しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	6	2 小説を楽しむ (一)	6	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ・語句のはたらきに注目して読む。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	2	9	3 詩を味わう	4	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			永訣の朝	4	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		10	古典の世界2 月やあらぬ	8	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	11	4 名作を読む	10	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を楽しむ。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	12	表現を味わう 【書く】思いを言葉に ①エッセイを書こう	6	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品	
3	1	5 社会に生きる	7	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)エ	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	2	古典の世界3 行く河の流れ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分の身の回りのできごとと比較しながら作者の考え方をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	
	3	読書の広場 鉄道員	6	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト	

学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
----	---	------------	----	------------	-------	-------	-------

計 70

2025年度 国語科 古典研究年間指導計画

科目 古典研究	単位数	3 単 位	指導者氏名	検	校長	教頭
	学科・学年・学級	3年理科科（選択A）	印	印		

1 学習の到達目標など

学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	「プログレス言語文化 総演習（いづな書店）」・「古文・漢文を一緒に学ぶ 古典の手引き及び定着ノート（いづな書店）」・「わかる・読める・解ける 古文単語330（いづな書店）」

2 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期										
月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標			具体的な評価規準	評価方法	考查範囲
4	清少納言「枕草子」	7	筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考判断表現	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。	行動の観察	第1学期中間 考查	
					主体的態度	筆者の美意識や機知を読み取る。	筆者の美意識や機知を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識技能	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検		
5	「三国志」の世界	4	話の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を考えるとともに、その人間像を読み比べる。 学習指導要領の指導事項 エ／オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考判断表現	それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとする。	それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとしている。	行動の観察	第1学期期 末 考 査	
					主体的態度	登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検		
6 7	紫式部「源氏物語」	9	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考判断表現	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』への興味関心を高める。	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』をより深く知ろうとしている。	行動の観察	第1学期期 末 考 査	
					主体的態度	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識技能	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検		

第 2 学 期										
月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標			具体的な評価規準	評価方法	考查範囲
9	漢詩（古体詩）	6	情景と作者の心情が融合した境地を味わうとともに、漢詩の構成などについて理解する。 学習指導要領の指導事項 エ／オ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	思考判断表現	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとする。	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとしている。	行動の観察	第2学期 中 間 考 査	
					主体的態度	それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解する。	それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。	行動の分析 記述の確認		
					知識技能	古体詩の詩形の多様性について理解する。	古体詩の詩形の多様性について理解している。	記述の点検		
10	孟[ゆい]「人面桃花」	2	話の展開を的確に読み取るとともに、登場人物の心情を理解する。 学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考判断表現	当時の中国における死生観や恋愛観について考えようとする。	当時の中国における死生観や恋愛観について考えようとしている。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査	
					主体的態度	登場人物の人間像と心理の動きを読み取る。	登場人物の人間像と心理の動きを読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検		
11	李復言「杜子春伝」	3	話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取るとともに、日本の近代文学と読み比べる。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	思考判断表現	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査	
					主体的態度	登場人物の言動や心理などを的確に読み取り、杜子春の人間性を理解する。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取り、杜子春の人間性を理解している。	行動の分析 記述の確認		
					知識・技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検		
11	「大鏡」	8	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ／オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	思考判断表現	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査	
					主体的態度	登場人物の人間関係や心情を読み取る。	登場人物の人間関係や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識技能	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。基本的な敬語法について理解する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。基本的な敬語法について理解している。	記述の点検		
11	司馬遷「史記」	7	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考判断表現	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査	
					主体的態度	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取る。	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検		
11	紀貫之「古今和歌集仮名序」	1	歌論を読み、筆者の和歌に対する感じ方や考え方を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとする。	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査	
					主体的態度	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取る。	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識	和歌や歌論の文学史的事項を理解する。	和歌や歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検		
11	源俊賴「俊賴髓」	1	歌論に示された和歌の評価を理解するとともに、和歌を鑑賞する。 学習指導要領の指導事項 イ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解しようとする。	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解している。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査	
					主体的態度	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞する。	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞している。	行動の分析 記述の確認		
					知識	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞法を	記述の点検		

12	思想と寓話	7	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ/オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	技能	法を広く理解する。	く理解している。	
					思考判断	個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとする。	個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとしている。	行動の観察
					主体的態度	簡潔な表現や巧みな比喻に注目しながら、内容を的確に読み取る。	簡潔な表現や巧みな比喻に注目しながら、内容を的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認
					知識・技能	基本的な句法・語法を理解する。 諸子の思想について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 諸子の思想について理解している。	記述の点検

第 3 学 期

月	教材	配当時間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲
1	「無名草子」	1	清少納言と紫式部がどのように評価されているか、的確に読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考判断	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなどころにあるか、理解しようとする。	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなどころにあるか、理解しようとしている。	行動の観察
					主体的態度	話者の評価内容を的確に読み取り、整理する。	話者の評価内容を的確に読み取り、整理している。	行動の分析 記述の確認
					知識・技能	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解する。	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解している。	記述の点検
鴨長明「無名抄」	1	俊成や俊恵の「おもて歌」についての考え方を読み取るとともに、 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	「おもて歌」についての考え方を理解しようとする。	「おもて歌」についての考え方を理解しようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取る。	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	謙譲語「給ふ」の用法について理解する。	謙譲語「給ふ」の用法について理解している。	記述の点検	
藤原定家「毎月抄」	1	歌論を読み、和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとする。	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取る。	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	歌論に頻出する用語の意味を理解する。	歌論に頻出する用語の意味を理解している。	記述の点検	
正徹「正徹物語」	1	歌論に述べられている和歌の評価を理解することで、和歌の鑑賞法 学習指導要領の指導事項 ア/ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとする。	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解する。	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解している。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	中世歌論の文学史的事項を理解する。	中世歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検	
世阿弥「風姿花伝」	1	能楽論に示された筆者の主張を読み取り、その特色を理解するとともに、視野を広げる。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取る。	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	古典芸能の流れ、能楽について理解する。	古典芸能の流れ、能楽について理解している。	記述の点検	
向井去来「去来抄」	1	俳論を読み、筆者の主張を読み取るとともに、焦門俳諧の特色を理 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとする。	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとしている。	行動の観察	
				主体的態度	句に対する筆者の批評を読み取る。	句に対する筆者の批評を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	俳諧の流れ、焦門について理解する。	俳諧の流れ、焦門について理解している。	記述の点検	
2	「難波土産」	1	近松門左衛門が考える舞台芸能のあり方について理解するとともに、を広げる。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察
					主体的態度	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取る。	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
					知識・技能	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解する。	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解している。	記述の点検
本居宣長「玉勝間」	1	筆者の学問についての主張を理解するとともに、自身の学びにつ 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとする。	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	国学の流れについて理解する。	国学の流れについて理解している。	記述の点検	
本居宣長「源氏物語玉の小櫛」	1	物語論を読み、筆者の論旨を理解するとともに、物語を読む意義な 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとする。	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解する。	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解している。	記述の点検	
柳宗元「捕蛇者説」	2	筆者の論旨を的確に理解し、自己のものの見方や考え方を豊かにす 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとする。	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取る。	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	唐宋八大家について理解する。	唐宋八大家について理解している。	記述の点検	
3	蘇軾「赤壁賦」	2	情景や叙情の描写の美しさを味わうとともに、作者の人生観を理解 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	この文章に見られる作者の人生観を理解しようとする。	この文章に見られる作者の人生観を理解しようとしている。	行動の観察
					主体的態度	情景や叙情の描写の美しさを読み味わう。	情景や叙情の描写の美しさを読み味わっている。	行動の分析 記述の確認
					知識・技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検
韓愈「師説」	2	論の展開を整理し、筆者の論旨を的確に理解するとともに、自己の 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文合うこと。	思考判断	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとする。	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。	行動の観察	
				主体的態度	「師」について筆者がどのように考えているかを読み取る。	「師」について筆者がどのように考えているかを読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
				知識・技能	基本的な句法・語法を理解する。 唐宋八大家について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 唐宋八大家について理解している。	記述の点検	

『表現探究』 年間指導計画 【3学年・理数科選択】

科目		単位数		指導学年		使用教科書		
表現探究		2単位(70時間)		第3学年 理数科		大修館書店『国語表現』		
担当者								
科目の目標		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		生徒の実態と指導の重点		理数科選択C科目。少人数で手厚い指導を行いながら、文章力や表現力、思考力を伸ばしていけるよう指導する。		
学年	学期	月	教科書単元名/教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
2 年次	1 学期	4	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う	3	【知・技】 (1)ア、ウ	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。[(1)ア] ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5		2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)オ	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	2 学期	9	レッスン3 相手に応じた言葉遣い	2	【知・技】 (1)イ、ウ	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けしている。[(1)イ] ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けしている。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		10		2	【思・判・表】 B(1)オ、カ	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。[B(1)オ] ・「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。[B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
3 学期	1 2	3	レッスン5 文のつながり	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)カ	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。[B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつながりに着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			■実践トレーニング①	2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 B(1)カ	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。[(1)イ] ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。[B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元1のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
3 学年		4	2 伝える、伝え合う レッスン1 自己紹介ゲーム	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・エ	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。 [A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。 [A(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5	レッスン2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ	1	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)エ・カ	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 [A(1)エ] ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。 [A(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6	レッスン3 絵や写真を見て書く	3	【思・判・表】 B(1)オ・カ	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	【知識・技能】 ・説明の順序や5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。 [B(1)オ] ・「書くこと」において、読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 [B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7	レッスン4 マイニュース記事を書こう	4	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
2 学期		9	3 小論文・レポート入門 レッスン1 小論文とは何か	3	【思・判・表】 B(1)ア・イ	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン2 反論を想定して書く	4	【思・判・表】 B(1)ア・イ・ウ	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	5	【思・判・表】 B(1)イ・ウ	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】 データを読む③／データを読む④	5	【思・判・表】 B(1)イ・エ	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
			レッスン5 発想を広げて書く	4	【思・判・表】 B(1)ア・イ	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン6 レポートを書く	5	【思・判・表】 B(1)ア・オ B(2)イ	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。[B(2)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン7 論文を書くために	2	【思・判・表】 B(1)ア・オ	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
10	4	自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて	1	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン2 効果的な自己PR	2	【思・判・表】 A(1)ア・ウ	・自分の長所を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。[A(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン3 将来の自分を考えよう	3	【思・判・表】 B(1)ア・エ	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン4 志望理由を書こう	3	【思・判・表】 B(1)ア・エ	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
11			レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	3	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア・エ B(2)ア	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。[B(2)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		12	レッスン6 面接にチャレンジ	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・エ A(2)ア	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 [A(1)エ] ・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。 [A(2)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
3	1 2		レッスン7 グループディスカッションをしよう	2	【思・判・表】 A(1)カ・キ A(2)エ	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	【知識・技能】 ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。 [A(1)カ] ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 [A(1)キ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			■実践トレーニング②	2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 A(1)エ	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 [(1)イ] ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 [A(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

『国語表現』 年間指導計画 【2学年・3学年普通科】

科目		単位数		指導学年		使用教科書		
国語表現		2単位(70時間×2)		第2・3学年 普通科		大修館書店『国語表現』		
担当者								
科目の目標		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		生徒の実態と指導の重点		2年次より国語科内選択科目。少人数で手厚い指導を行いながら、文章力や表現力、思考力を伸ばしていきけるよう指導する。		
学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
2 年次	1 学期	4	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う	3	【知・技】 (1)ア、ウ	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5		2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)オ	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	2 学期	9	レッスン3 相手に応じた言葉遣い	2	【知・技】 (1)イ、ウ	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。〔(1)イ〕 ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		10		2	【思・判・表】 B(1)オ、カ	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。〔B(1)オ〕 ・「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
3 学期	1 2	3	レッスン5 文のつながり	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)カ	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつながりに着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			■実践トレーニング①	2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 B(1)カ	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元1のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
3 学年		4	2 伝える、伝え合う レッスン1 自己紹介ゲーム	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・エ	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。 [A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。 [A(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5	レッスン2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ	1	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)エ・カ	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 [A(1)エ] ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。 [A(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6	レッスン3 絵や写真を見て書く	3	【思・判・表】 B(1)オ・カ	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	【知識・技能】 ・説明の順序や5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。 [B(1)オ] ・「書くこと」において、読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 [B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7	レッスン4 マイニュース記事を書こう	4	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
2 学期		9	3 小論文・レポート入門 レッスン1 小論文とは何か	3	【思・判・表】 B(1)ア・イ	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン2 反論を想定して書く	4	【思・判・表】 B(1)ア・イ・ウ	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	5	【思・判・表】 B(1)イ・ウ	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】 データを読む③／データを読む④	5	【思・判・表】 B(1)イ・エ	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
			レッスン5 発想を広げて書く	4	【思・判・表】 B(1)ア・イ	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン6 レポートを書く	5	【思・判・表】 B(1)ア・オ B(2)イ	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。[B(2)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン7 論文を書くために	2	【思・判・表】 B(1)ア・オ	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
10	4	自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて	1	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン2 効果的な自己PR	2	【思・判・表】 A(1)ア・ウ	・自分の長所を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。[A(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン3 将来の自分を考えよう	3	【思・判・表】 B(1)ア・エ	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン4 志望理由を書こう	3	【思・判・表】 B(1)ア・エ	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
11			レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	3	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア・エ B(2)ア	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。[B(2)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		12	レッスン6 面接にチャレンジ	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・エ A(2)ア	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 [A(1)エ] ・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。 [A(2)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
3	1 2		レッスン7 グループディスカッションをしよう	2	【思・判・表】 A(1)カ・キ A(2)エ	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	【知識・技能】 ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。 [A(1)カ] ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 [A(1)キ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			■実践トレーニング②	2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 A(1)エ	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 [(1)イ] ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 [A(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト